



京都の海へ
Summer Vacation
ゆったり過ごす、海辺の夏休み。

海の京都

京都の日本海側。
誰もが知る京都とは、ちょっと、いや、だいが、違う。



海の京都 DMO news
www.uminokyoto.jp VOL.19
2020. 7. 1

海の京都からごあいさつ

このたび社長に就任しました森屋松吉（もりや まつよし）です。最初に新型コロナウイルス感染拡大によりご苦労をされておられる皆様に謹んでお見舞い申し上げます。2年前から社外取締役としてDMOの経営に携わってきています。また、現在、京都北都信用金庫会長をしています。「ほくとしんきん」では2015年度に10か年長期経営計画を策定し、そのビジョンに「地域活性化の実現」を掲げて、地域が元気になるように色々な取組みを行っています。DMOと関係した金庫の取組みの一つに「全国信用金庫に呼び掛ける団体旅行誘致」があります。令和元年度は11金庫から5,310名のお客様に「海の京都」にお越しいただきました。



DMOは、観光庁が観光産業振興を目的に認定する観光地域づくり法人です。もともと欧米ではDMOやDMCなどの組織が存在しており、コンベンションの誘致などを通じて地域の宿泊業などの稼ぎを作り出しています。日本でもそれらを真似て日本版DMO認定制度ができました。この法人は観光協会の

一般社団法人 京都府北部地域連携都市圏振興社
海の京都DMO 社長 森屋 松吉

ような業界団体ではなく、官民を挙げた組織で政府が認定する法人で、地方創生において重要な位置づけとなっています。

このような経緯から、現在、DMOの予算は、政府の地方創生推進交付金を中心の予算となっています。しかし、今後は独自財源を関係団体やDMO会員の理解と協力の下に確保して持続可能な組織としていかなければなりません。

海の京都DMOでは6月29日の定時社員総会において、「海の京都DMO中期経営戦略」を策定しました。この経営戦略では国が進める世界水準のDMO（先駆的インバウンド型DMO）を目指し、観光による地域のブランド化と「地域が稼ぐ」仕組みづくりに取り組み、「海の京都」を世界に認められる観光圏域とすることとしています。

しかし、インバウンド（外国人観光）の回復は当面は厳しい状況にあります。まずは近場から国内観光に軸足を置いた安心・安全な観光を目指していくことが必要であると考えます。インバウンドは観光需要の平準化や市場の大きさなどを考慮すると大変重要な産業であると考えます。インバウンド再開までの間は、アフターコロナのインバウンドに向けての備えを十分に行う時期であると思います。

海の京都DMOの今後の歩みには、地域の皆様のご理解とご協力が何よりも必要です。海の京都DMOの経営を見える化し皆様のご賛同を得ながら業務運営を進めて参りたいと考えております。

結びにあたり、地域経済社会の発展と地域の皆様のご健康ご多幸を祈念申し上げ就任挨拶といたします。

令和2年度「海の京都DMO事業計画」が取締役会で承認

令和2年度「海の京都DMO事業計画」

<基本的な考え方>

海の京都DMOは、市町一体となった観光地域づくり体制を構築し、「事業と役割」「財源と収益」「人材と組織」等についての今後の方針を示す「中期経営戦略」の実現に向けた礎を構築するため、地域資源の磨き上げなど地域のブランド化を推進するとともに、観光地域づくりの総合プロデューサー機能の充実強化、地域の稼ぐ力の創出に努めます。

特に、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染拡大により大打撃を受けた観光産業の立て直しを最優先課題とし、観光客に安心してきていただけるガイドラインの周知等の安全対策に努めながら、誘客活動を推進します。

また、「食」や「広域周遊」「産業文化遺産の活用」などの取組みを推進するとともに、DMOのマーケティング機能を強化するため「戦略会議(仮称)」を設置し、調査・分析、立案、実行、検証を行う手法の本格的な検討を開始、世界水準のDMOの形成を目指した事業展開を図ります。

【予算規模】 175,403千円

項目	主な内容
新型コロナウイルス対策事業 (20,500千円)	・海の京都エリアガイドラインの周知と観光事業者支援 ・海の京都マイクロツーリズムの推進 ・オウンドメディア地域プロモーション事業
インバウンド推進事業 (39,090千円)	<受入体制> ・多言語対応ガイド育成事業 <プロモーション> ・台湾プロモーション事業 <基盤整備> ・インバウンド周遊促進「主要バス停駅ナンバリング」整備事業 ・海の京都HP「英語サイト」対応強化・SNS等発信力強化事業
情報発信、旅行商品・特産品販売促進、周遊強化、人材育成・地域づくり事業 (58,364千円)	・インバウンド向け体験プログラム・国内ツアー商品の造成 ・信金年金友の会等団体旅行者誘致活動 ・団体客向け特産品・土産品消費促進カタログ制作事業 ・海の京都エリア内周遊促進事業 ・海の京都ガイドブック制作事業
マーケティング調査事業 (10,200千円)	・「戦略会議(仮称)」の設置 ・海の京都DMO自走式デジタルマーケティング調査・顧客管理システム構築・活用事業
その他(47,249千円)	・人材育成・地域づくり事業、管理運営費

Kyoto by the Sea DMO Topics

2020.5～2020.7

海の京都 サマーパッケージキャンペーン クーポンでお得に旅をしよう！

海の京都DMOでは、新型コロナウイルス拡大による観光客減少からの回復を目的に、7月1日から8月31日までの2か月間「海の京都 サマーパッケージキャンペーン」を実施します。

キャンペーンでは、京都府民先着400組限定に対象宿泊施設で1組(2人以上)1泊10,000円以上の場合に料金から5,000円を割引く「宿泊クーポン」をはじめ、5,670(コロナゼロ)人に対象飲食店で1会計1,000円以上の場合に500円を割引く「飲食店クーポン」、また、先着600人にスポーツタイプの電動アシスト自転車e-BIKE(イーバイク)のレンタル料金通常1日2,000円を半額の1,000円に割引く「e-BIKEクーポン」を展開します。



先着5,670名様(コロナゼロ)に500円の割引クーポン！

詳細はこちら▶

海の京都クーポンの使い方(飲食店編)

- 会計時に、スマホから海の京都のWebサイトのアンケートに答えると、「店舗コード入力画面」が表示されます。
- 入力画面に、クーポン対象店舗で会計時に使ってもらえる「4桁の店舗コード」を入力します。
- 画面上に、「海の京都クーポン(500円)」が表示されます。
- 店舗側でクーポン画面を閲覧し、会計額から500円を割引きます。(1会計1,000円(税込)以上が対象)

<https://www.uminokyoto.jp/feature/detail.php?spid=66>

海の京都 新型コロナウイルス感染症対策 ガイドライン・ピクトグラム等を作成

海の京都DMOでは、お客様に安心して楽しんでもらえるよう、「三密」を避け、利用者および事業者の安全を確保するため、「飲食店」「宿泊施設」「体験プログラム」事業者それぞれに向けたガイドラインを策定しました。

さらに、各事業者が感染症拡大防止のために実施している取り組みについて、わかりやすく説明する掲示用ピクトグラムを作成。

また、お客様に「マスク着用」「手指等の消毒」「人との距離の確保」を呼び掛ける海の京都オリジナルポスターを作成し、海の京都サマーパッケージキャンペーンに参加される関係施設等に配布しました。

<ガイドラインやピクトグラム等は海の京都ホームページに掲載しておりますので、ご自由にダウンロードいただけます。>



ガイドライン

掲示用ピクトグラム

第4回「JLAA地方創生アワード」 最優秀賞を受賞

海の京都DMOで昨年度に実施した「メディア・リレーションズとパブリシティ強化事業」が、第4回「JLAA地方創生アワード」の最優秀賞4事業のひとつに選ばれました。

「海の京都」のエリアの情報が年間を通じてより多くメディアで取り上げられるように、戦略的にメディア・リレーションズ活動を実施したことが評価されたもので、今後も様々なコンテンツの情報発信に努め、魅力ある地域として多くの方に認知、来訪していただけるよう努めます。



5月・6月の主な取り組み

- 5月20日(水)海の京都観光協議会令和2年度総会(書面決議)
- 5月27日(水)海の京都DMO地域本部事務局長会議
- 5月29日(金)海の京都DMO管内市町観光担当課長会議(Web会議)
- 6月9日(月)海の京都DMO令和2年度第1回取締役会
- 6月29日(月)海の京都DMO令和2年度定時社員総会・第2回取締役会

海の京都DMO新役員のお知らせ

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 社長(京都北都信用金庫会長) | 森屋 松吉
(前任 大同 一生) |
| 取締役(舞鶴地域本部長) | 植本 浩明
(前任 齋藤 友幸) |
| 取締役(福知山地域本部長) | 芦田 敦嗣
(前任 福島 慶太) |
| 取締役(WILLER(株)代表取締役) | 村瀬 茂高
(前任 森屋 松吉) |
| 監査役((株)京都銀行執行役員公務・地域連携部長) | 奥野 美奈子 |

よろしく、お願いいたします。

編集・発行者

一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社
海の京都DMO
〒629-2501 京都府京丹後市大宮町口大野226
京丹後市役所大宮庁舎内
TEL:0772-68-5055 FAX:0772-68-5056
MAIL: info@uminokyoto.jp